

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行政運営の効率化	施策の目的	市民満足度の高い行財政運営を進める	施策	行政運営
-------	----------	-------	-------------------	----	------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
行政組織と人事管理の適正化	人材育成のための職員研修	総務課
行政事務の改善	行政改革懇談会の開催	行財政改革課
地域情報化の取り組み	公衆無線LANサービスの拡充	デジタル推進課

目標

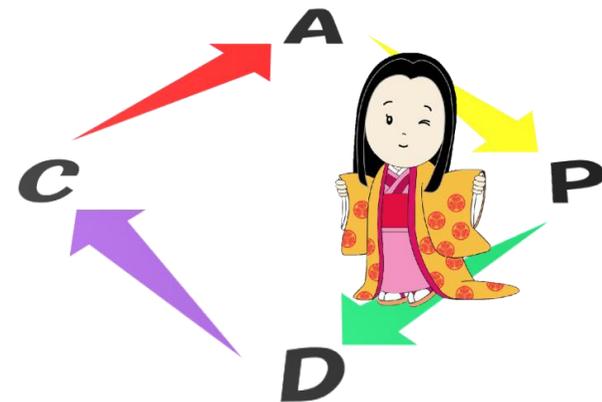
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
行財政改革に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	12.1%	17.1%

令和2年度の取組状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

行政側の自発的な取組みが見受けられ、好ましい方向に進んでいると思われる。公務力向上講座は、社会や市民意識の変化への対応力を向上できるような講座を設ける等、積極的に推進していただきたい。行政サービス改革のさらなる推進のため、行政の透明度を高め、市民にとって分かりやすく、効率的な行政運営を期待する。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	人材育成のための職員研修			
担当	総務課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	1目	5事業
事業の目的	職員の知識やスキル向上のため、研修所等研修、職場研修、自己啓発を柱とし、職務に対する意欲向上と人材育成のための研修を実施			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化
施策の目標	市民満足度の高い行財政運営を進める
施策	行政運営
施策の方向	行政組織と人事管理の適正化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	1,398千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		80.0 %
実施内容と改善点		
人事評価制度については、職員にもだいに浸透してきた為、今年度研修より、採用4年以下と管理職になったばかりの方対象に変更し、日数も1日に減らして実施した。コロナ禍の研修としてオンライン等非対面の研修を検討。		

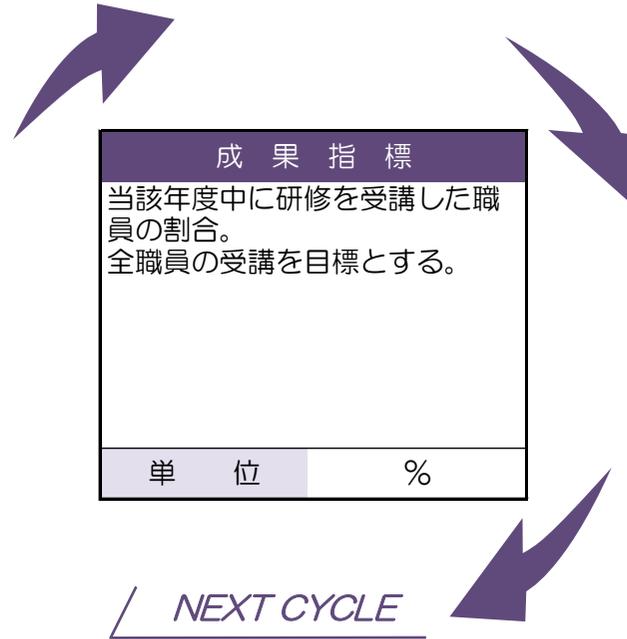
【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	希望者を募って実施する「公務力向上講座」はコロナ禍にもかかわらず200人が受講。特に、実務に直結する研修には関心が高く参加者も多い。
分析	「公務力向上講座」や「働き方改革」の研修を継続し、職員が高い意志を持って、業務に取り組めるようサポートする。また、研修の成果等を適正に人事評価に反映するため、行動記録表、指導観察記録表への入力を促す。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	898千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		76.0 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
「公務力向上講座」の他に、「働き方改革」「ハラスメント研修」を実施。職員の知識やスキル向上と同時に、働きやすい職場環境を整える研修を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、例年3日間開催していた「公務力向上講座」を2日間に縮小。人事評価制度研修も第1回分を中止し、第2回の1日のみ実施。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	行政改革懇談会の開催			
担当	行財政改革課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	6目	1事業
事業の目的	行政運営に市民目線を加えることで、効率的で市民満足度の高い市政の実現を推進する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化
施策の目標	市民満足度の高い行財政運営を進める
施策	行政運営
施策の方向	行政事務の改善

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	70千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		88.0 %
実施内容と改善点		
行政改革懇談会を2回開催する。また、行政評価に用いる評価シートを見直し、平易性を向上することで、より市民に寄り添った評価シートを実現する。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	前年度よりも評価の一致率は上昇したものの、大幅な増加には至らなかった。また、行政改革懇談会は2回開催を予定していたが、実績は1度に留まった。
分析	対象事業を総合計画の主要施策に絞り込んだことにより、核心的な行政評価となった。行政改革懇談会は、近年は年に1度だけの開催が続いている。委員と市との対話の場をさらに設けることで、評価の一致率の向上が図れると考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	35千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		87.1 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
行政評価に係る意見聴取のため、行政改革懇談会を書面決議により1回開催した。なお、令和2年度行政評価では前年度から対象事業を絞り込み、総合計画の主要施策に重点を置くように改めた。		



成果指標	
行政評価における行政改革懇談会と行政改革推進本部の評価の一致率	
単位	%

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	公衆無線LANサービスの拡充			
担当	デジタル推進課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	9目	1事業
事業の目的	(平常時)施設利用者への利便性向上、(災害時)避難所での情報収集・共有の円滑化を図るため、公衆無線LANが利用できる施設の拡充を推進する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	行財政運営の効率化
施策の目標	市民満足度の高い行財政運営を進める
施策	行政運営
施策の方向	地域情報化の取り組み

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	508千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
サービスの安定提供を図るため、光回線及びプロバイダ契約を継続する。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	サービスを提供している6施設(本庁舎・石下庁舎【平成26年度整備】、生涯学習センター・水海道公民館・地域交流センター・石下総合福祉センター【令和元年度整備】)について、サービスの安定提供を継続した。
分析	令和元年度に新たに4つの施設でサービス提供を開始したことにより、当課としては【常時、市民等が利用する施設】については、整備が完了したと考える。※上記6施設以外に、保健センター・水海道総合体育館・石下総合体育館・あすなろの里・図書館でサービスを提供中(他課で整備)

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

成果指標	
災害時だけでなく、平常時も施設利用者の利便性が図れる施設【常時、市民等が利用する施設】における、公衆無線LANの整備率	
単位	%

NEXT CYCLE

令和元年度	決算額	868千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		- %

令和2年度	決算額	439千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
サービスの安定提供を図るため、光回線及びプロバイダ契約を継続した。また、機器が老朽化した施設(平成26年度に整備した施設:2箇所)について、機器の更新を実施した。※「情報通信ネットワーク機器賃借事業」の一部として、機器更新を実施したため、決算額には機器更新にかかる費用は含んでいない。		